

令和6年度 学校経営の基本方針

教育目標： ゆたかに かしこく たくましく伸びる 真野のよい子

年度の重点目標： 互いに認め合う子 共に高め合う子 進んで体を鍛え合う子

経営方針

- 子ども一人一人がもつよさを互いに認め合い、支え合いを大切にしながら、笑顔であふれる学校づくりに努める。
 - ・子どもたち一人一人のよさを互いに認め合えるような集団を作る。
 - ・教育活動全般を通して、他人のよさを認め自分の考えを表出する授業や活動を積極的に取り入れていく。互いに認め合うことで、子どもたちの自己有用感を高め、どの子も主体的に学校や学級の集団にかかわっていけるようにする。
 - ・教師は一人一人の子どもの特性を見取り、子どものよいところを認め、積極的に褒めることを心がける。ただし、他人に迷惑をかける行為など、叱るべきところは毅然とした態度で注意する。
 - ・子ども同士、子どもと職員、職員同士が、笑顔であいさつを交わすようにする。
 - ・異学年の子ども同士や地域の方々と関わる場を広げ、コミュニケーション能力の育成を図る。
- 友達同士をかかわり合わせ、振り返りを確実に取り入れながら、子ども一人一人の考えを深めるような授業実践に努める。
 - ・学級内をセーフティな環境に保ち、自分の考えを友達に伝え、かかわり合うことや振り返りを書くことにより、それぞれの考えをより深め、学力を高め合う。そのような授業づくりを全職員が一つになって推し進めるために、校内研修を充実させ、指導法の工夫・改善に努める。
 - ・ICTを最大限に活用し、「個別最適な学び」「協働的な学び」を充実させる。
 - ・隣接する中学校とともに、家庭学習習慣の定着を目指す。合わせて読書習慣やメディアコントロールの効果的な運用についても、家庭との連携を密に図っていく。
- 健康・体力づくりに自ら取り組み、目標の実現に向けて休まず継続して活動するたくましい心をもった子どもを育てる。
 - ・社会でたくましく生きていくための基盤となる健康・体力の保持増進に向けて、家庭と連携しながら進んで取り組む子どもを育てていく。
 - ・目標を定め、苦しい時でも、友達と励まし合いながらそれを乗り越えることができる強い心の育成に努める。
 - ・体育科において子どもたちが意欲的に熱中して取り組む授業の工夫、課外活動の奨励、健康教育や食に関する指導の充実などを推進していく。